

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 149 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2024 年 03 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

天気・気温が目まぐるしく変わる 2 月

2 月の定例作業日 (2/27) は、

天気は晴れていましたが、北風が強い一日でした。帰るころは一段と風が強まり、砂埃もひどく、ホワイトアウトならぬイエローアウト状態になる瞬間もあり、自転車で帰られた方は大変でしたね。

この参加者は 19 名。林内班 11 名、ゴミ拾い班 8 名。

ゴミ班の巡回コースは、産廃通り-東京狭山線沿い-サッカー場-湿地-霊園通り-桜木神社通り-第二駐車場。

コース記号は、イ-K-n-J-I-H-G-O-P' -a-a' -k-i-ロ-C-U-C-B-W-b' -b-g-g' -A-d-N-K となります。

特記事項は、①久しぶりに産廃通りへ向かいましたが、途中の農道は荒れ放題。産廃通りはゴミがそれなりに（産廃業者のゴミ拾い人もいました）。②前回 (2/13) に詳細確認した、東京狭山線手前の斜面途中にあった生活臭「ゴミ」については、公園課に連絡した結果、公園課が撤去・保管し、通告の看板が設置されていました。③「湿地」は、わづかな湿り気でした。④前回に引き続き、第二駐車場手前で、五倍子の拾得をしまし

た。(ミッチャン記)

強風と花粉が舞う中での活動でした。林内作業は、ローラー滑り台に面した区域での、落下枝や倒木の運び出し、根笹の刈払い、倒木の玉切りなどを行いました。

林内は、ナラ枯れ対策の伐採による風雨の影響で、大きな枯れ枝の落下が多数あり、運び出しも重労働となりました。

休憩時には、満開の河津桜を愛でながら至福のひと時でした。花粉症と併せて重筋作業の筋肉痛など、休養と養生をお願いします。(林内班：岡野さん記、ミッチャン加筆)

さて作業開始前の集合写真ですが、現地で確認した際は明瞭に映っておりましたが、帰着後見ると真っ黒になっており復元できませんでした。

したがって、各班での参加者写真のみの掲載となりました。



[2/27 林内班集合写真]



[2/27 ゴミ拾い班集合写真]

まずは、ゴミ拾い班の水島さんからの報告・感想です。『北北西の風 11m の予報の中、土曜日から花粉の症状が出ていて、これは花粉が飛び散るカルチャーパークに出かけることになる」と覚悟を決め、マスクをして自転車で出かけました。

林の中はゴーゴーと唸るような音が聞こえて、時々小枝が頭の上に降りかかるという最悪のコンディションでした。

私達ゴミ拾い班はいつもと違うルートで、東京狭山線まで出て、小さいゴミや空き缶を拾いながら、湿地まで歩きました。

久しぶりに来た湿地はほとんどの草や、周りの木々も枯れていて、まさに冬枯れの感じでした。

いつものように湿地のなかを歩いて、真ん中に立っている桜の木のそばに来てみましたが、風下の半分ぐらいの部分は、細

く小さな小枝が巻き付くように垂れ下がっていて、とても奇妙に見えました。

こんな状態で春には緑の葉がついて、桜の花が咲くのだろうか心配になってきましたが、中心になっている木の幹を押してみるとびくともせず、しっかりと立っていました。

これなら見事な立派な桜の花が期待できるかなと、胸を膨らませました。旧管理事務所の前でゴミの分別を終えて、第2駐車場の止めてある自転車までとぼとぼ歩きながら右を見ると、満開に咲いた冬桜が目に入り、心が癒されました。

しかし今日のような悪いコンディションの中での作業をしたせいか、腰に痛みを感じて、そろそろボランティア活動は無理かなとも思ったりしました。

さて、それからの自転車での帰宅が大変でした。

まず駐車場から出るところからさらに風が強くなり、しばらくは風上に向かって、手で押しながらかきました。

風が弱まったところで自転車にまたがり、ゆっくりと漕ぎ出してみましたが、時々横風に変わりハンドルが取られそうになりました。

降りては手押しで歩いたり、また乗ったりのくり返しでしたが、家に帰るまで畑の横を走ると土煙がまっっており、下を向いてのハンドルさばきには苦労しました。やっとの思いで家にたどり着きましたが、もうヘトヘ

トです。早速風呂に入り頭を洗ってから、ほっと一息つくことが出来ました。

今まで経験したことがない、このような強風の中での自転車は、もうこりごりです。

万歩計を見ると 8700 歩（カルチャーパークの中での作業と自転車を手押しで歩いた合計）でした。』



[2/27 斜面ゴミは撤去されて・]



[2/27 ゴミ集約]

次いで、林内班の**三浦さん**からの報告・感想です。『最高気温 10 度 強風の予報どおり、朝から冷たい北風が吹き、午後もしむこと無く台風並みの荒れた一日となった。前々日の 25 日は一日雨だったし、26 日は一日強風、そしてこの日 27 日も強風と不順な天気の中での作業となった。集まったのは 19 人、いつもの社会貢献企業から、延べ 92 人目となる女性が代表して参加した。何時はもっと多くい参加があるののと思ひ訊ねると、社内でインフル感染が発生

したためとのことで納得。林内班 11 人はリヤカーに道具類を積み、第二駐車場方向へ向かい広場西側に荷物置き場を設けた。この日も恒例となった下刈り、林内の落下枝の収集運搬とした。二日間の強風で林内にはかなりの落下枝が見える。林中に入ると、強風で森全体がゴーゴーと音を立て大きく揺れている。思わぬ枝の落下や倒木が予想されたが林の中は静かでさほどの影響もなさそう。それでも念のため、皆には落下枝などに充分注意するようお願いした。

刈り払い機三台による下刈り、その他の人達による落下枝の収集。この日は特に太く長い枝が多く、二人がかりで運搬しなければならぬものが多かった。

作業していてもどうしてもナラ枯れに眼が行ってしまい気が散漫になって仕方が無かった。枯れているのが一目瞭然だから余計そう感じた。この先いつまでこの状態が続くのだろうか、その危険さを感じられるだけに一刻も早い処理を望みたい。

作業中も止むことも無く吹き荒れる風の音に、心配を余儀なくされながら進められた作業であったが、順調に進みこの日も大きな成果を上げる事が出来た。

待たれた広場の「河津桜」の開花だが、強風をものともせず期待通り、今を爛漫とばかりに咲き誇っていた。

老体に鞭打ち働き疲れた身体

には一幅の清涼剤とも癒しとなって心晴れた気持ちにさせられた。爽快 そう（・・）かい（・・）！』



[2/27 作業状況－①]



[2/27 作業状況－②]



[2/27 集積]



[2/27 河津桜]

~~~~~

## 2月の第二作業日(2/13)は、

朝はひんやりした風も吹いていましたが、作業していると汗ばむ陽気に……。春を感じながらの作業でした。

小林さんが名札の材料をそろえてくれました。岡野さんから

はしっかりした名札をつけたいということで自前の名札を用意されました。服に傷をつけない首下げ方式の名札をつけたい方は自前で作成してもらうこととしました。

参加者は13人(未来会議からの継続参加者2名を含む)。

林内班:9人、ゴミ班:4人で作業実施。

ゴミ班の巡回コースは、東西通り・東京狭山線沿い・サッカー場・湿地・桜木神社通り・第二駐車場。コース記号は、イ-K-L-I-F-G-O-P' -a-a' -k-i-ロ-C-B-W-b' -b-g-g' -N-K となります。

特徴的なことは、①東京狭山線に突き当たる手前の斜面途中に、生活臭のする「ゴミ」がまとまってあった(公園課に対応をお願いしました)。②「湿地」は、わづかに湿り気はあるものの滞水はありません。③桜木神社通り南側の一カ所に集中ゴミがありました。④第二駐車場手前でたくさんの、草木染の材料となる五倍子が落ちており拾い集めました。

(ミッチャン記)

ポカポカ陽気の冬日和のなかでの林内整備作業は、第2駐車場東側の雑木林角地のくいきで、枯れ枝拾いと伐採枝の片付け及び根笹の刈払い作業を行いました。

ナラ枯れの大樹伐採による風の影響を受けて、沢山の枯れ枝の落下が見られました。

(林内班:岡野さん記、ミッ

チャン加筆)



[2/13 作業開始前集合写真]

以下、林内班・三浦さんからの詳細報告です。

『最低気温マイナス1度、最高気温16度と4月並のこの季節としては異例の気温となった。集まったのは13人。1月30日の市との協働作業日に初参加した男性M氏も加わり林内班9人、収集班4人でのスタートとなった。』

カルチャーパークの森は未だ冬の景色のまま、一週間前の2月5日から6日にかけて約10センチ程度の積雪があり、その後すぐ雨が降ったので、水分を含んだ雪の重みで多くの樹木が折れたりした。さらには春一番クラスの大嵐も吹いたので、カルチャーパークもその影響が大きかったようだ。林内にはその痕跡が随所に見られたし、特にナラ枯れした樹は小枝が殆ど無くなり裸同然で、見るも無惨でただ立っているだけの姿になっていた。この日はこれら落下枝などの片付けと運搬が主な作業となりその他は笹などの下刈りだ。

林内に入ると、重機を使いナラ枯れした大木を伐採した痕跡があり、依然ナラ枯れ対策は続いている。ほかにも枯れた樹が

まだ多く残っているし、明らかに危険と思われるので心配は尽きない。一日も早い伐採を望みたい。いつになったら我々の心配が解消されるのだろうか。

幸い作業中は心配された落下もなく人力頼みの作業は順調に進み、落下枝の処理も概ね果たし、山と積まれた様子から想定以上の成果を挙げることができた。

この日、この季節として珍しい暖かさと天気恵まれ薄ら汗をかき疲れながらも爽快さも感じられた作業日だった。

いつもは広場を囲むように咲く「河津桜」は期待に反し蕾は堅かった、次の活動日には見頃を迎えるだろうそんな感じでした。』



[2/13 林内班集合]



[2/13 林内作業-①]



[2/13 林内作業-②]



[2/13 伐採木の集積]



[2/13 ゴミ班集合]



[2/13 斜面に「生活臭」ゴミ]



[2/13 五倍子の収穫]



[2/13 ゴミ集約]

### 3月の作業予定

定例作業日: 3月26日(火)

第二作業日: 3月12日(火)

作業時間: 9:30~11:30

\* 作業内容:

ゴミ拾い・林内作業

\* 持ち物: 手袋、タオル、雨具、  
飲み物、念のため、保険証・  
お薬手帳など

荒天など天候不順の場合は、  
事前に中止連絡しますが、微妙  
な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで  
[090-8014-3310]連絡下さい。

~~~~~

定例作業日の昼食会は中止です

3月以降の行動予定日-

3/12(火)、3/26(火:定例)

*3/19(火) 10:00~11:30 生涯学習推進センター 101 会議室

応援隊の総会的懇談会を実施します。

4月以降については、上記「総会的懇談会」で決めますが、暫定的に下記の日程を案とします。

4/11(木)、4/30(火)、5/14(火)、5/28(火)

コロナ対策の基本について

WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナは心配ないというメッセージを送ってはいけない」と述べています。なお、まだパンデミック宣言は終了していません。ということで従来の予防策に準じた行動を基本とします。

感染予防対策、

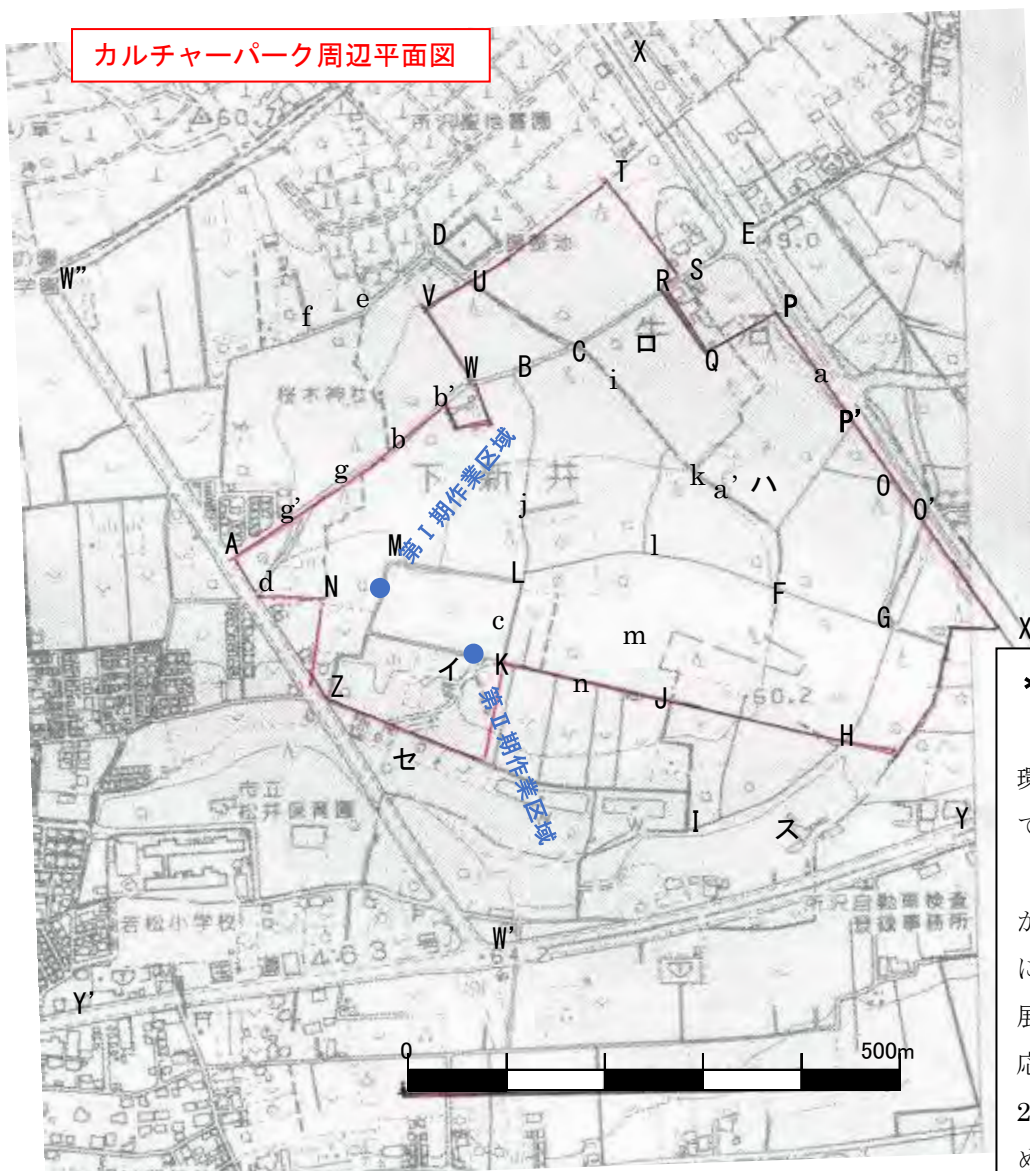
- ・間隔をとっての行動。(体操・作業)
- ・マスク着用：各自の判断とします。
- ・作業間隔の短縮・水分補給。
- ・使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。

なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。

新型コロナ発生時の対応策

- ①毎回参加者名簿(連絡先電話番号入り)を作成する。
- ②次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)
 - イ. 症状があり、検査を受けた時。
 - ハ. 検査結果と医師・保健所などの指示があったとき。
- ③陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿 地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産 廃
	E	交差点「開発」
	W'	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X'	県道東京狭山線
	W'' -A-W'	市道 カルチャーパーク通り
	Y-W' -Y'	国道
園内通り名 (仮称の たたき台です)	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
	I-H	産廃裏通り

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。
皆さんからの御意見をお寄せください。

* この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

* お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。